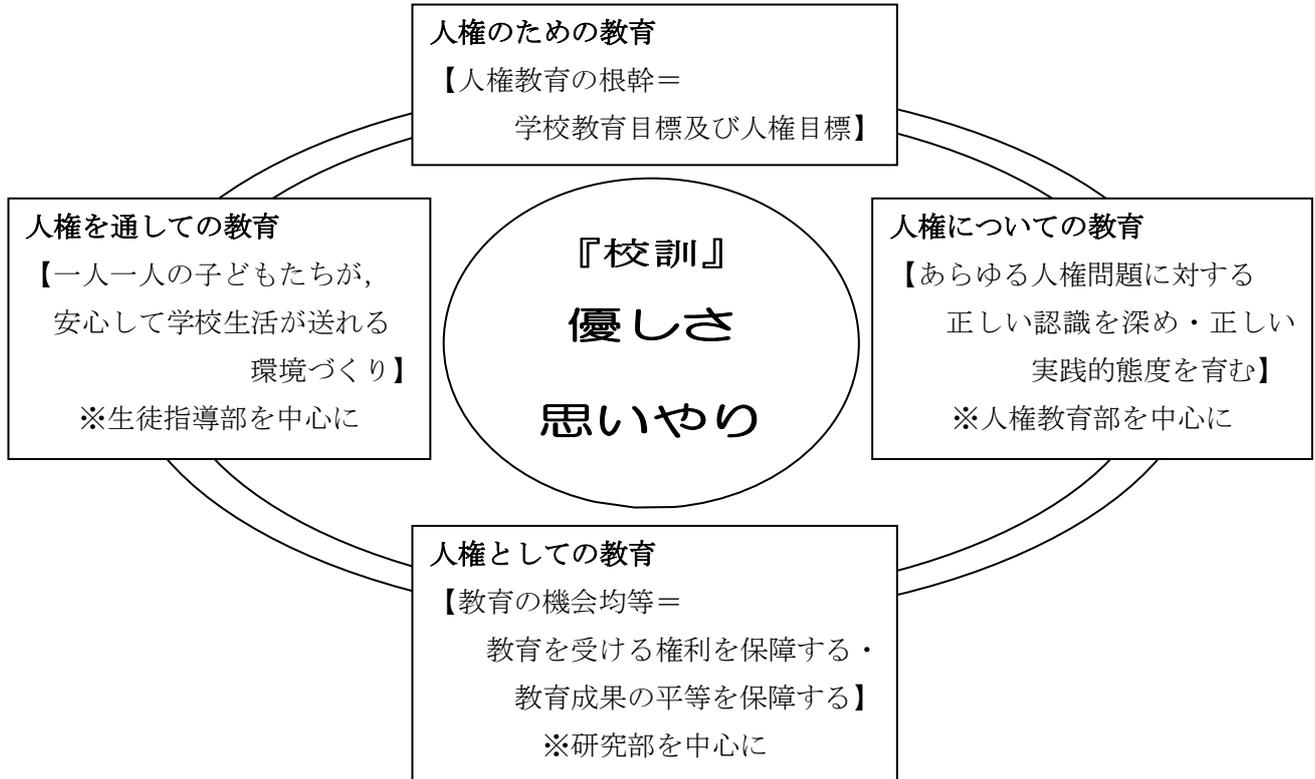


学校経営方針

《基本的な考え方》

人権教育を基盤とした学校教育の推進



1. 学校教育目標

『自分のめあてに向かって、自分から意欲的に取り組む子の育成』

- ・ 自分にあつた目標を自分で見いだす
 - ・ 課題の解決方法を自分で考える
 - ・ 課題解決にむかって自分から意欲的に取り組む
- ～次々と一段高い目標に向かって、みんなで挑戦し続ける学習集団を基盤に～

2. めざす子ども像

『 何事にも自分から意欲的に取り組む子どもへ 』

◎『知』「確かな学力」をつける

【自分からすすんで勉強する子】

◎『徳』「豊かな心」をはぐくむ

【だれに対しても自分からやさしくできる子】

◎『体』「健やかな体」をつくる

【早寝・早起き・朝ごはん・運動で元気な子】

◎『礼』「規範意識」をそだてる

【やくそくやきまりを自分からきちんと守る子】

《あいさつ》

《敬語
(丁寧な言葉)》

《時間》

3. めざす学校像

『 人権教育を基盤とした

「どの子ども安心できる学級」づくりから、

「笑顔あふれる温かい学校」へ 』

～すべての子どもが、いきいきと自信をもって活躍できる世界一の学校をめざして～

(1) 【一人一人を徹底的に大切にできる学校】

- ・すべての教育活動を通じて、「子どもの主体的な育ち」を支援する。
- ・いじめや暴力のない人権を大切にできる安心できる学級づくりをする。

(2) 【魅力的で尊敬される教職員の集う学校】

- ・豊かな人権感覚をそなえ、厳しさの中にやさしさをもって指導にあたる。
- ・高い授業力・豊かな児童理解による生徒指導力を持ち合わせ、自己の専門性を発揮する。

(3) 【同じ価値に向かってチームで指導にあたる学校】

- ・自発的な情報収集・情報発信による情報の共有を徹底する。
- ・校務分掌や学年運営など協同体制で教育活動を進める。

(4) 【家庭や地域と連携し、子育ての拠点となる学校】

- ・「家庭の教育力」の向上を図り、“家庭を学びの場へ”を目指した教育環境づくりに向けて学校が拠点となり、有益な情報を発信していく。
- ・『校訓』や『学校経営方針』を家庭・地域に発信して連携を図り、“地域の子どもは地域で育てる”を実践していく。

4. 学校運営の柱 ～全教職員が進める確かな学校教育～

- ①子どもの命を守りきる
- ②すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める
- ③教育者としての責務を自覚し、専門性を高めるとともに、働き方改革を進める
- ④校種間連携・接続を推進する
- ⑤「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う
- ⑥保護者・地域との連携・協働した取組を推進する
- ⑦関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する